
食肉科研/行政情報等発信サービス

No.109 2018/4/9

1 平成 27 年度 食品中の残留農薬等検査結果

4月4日、厚生労働省医薬・生活衛生局食品基準審査課残留農薬等基準審査室は標記調査結果を公表した。これは、平成27年度に実施された食品中に残留する農薬、飼料添加物及び動物用医薬品の検査結果を取りまとめるため、地方公共団体及び検疫所注における検査結果を合わせて集計したもので、その主なものは次のとおり。

(1) 全体

検査の総数は、平成27年度は約298万件であった。検出数は、国産品と輸入品を合わせて約1万件、検出割合は0.36%であった。基準値超過数及び検査全体に占めるその割合は、それぞれ231件及び0.008%であった。

(2) 畜水産物

国産品については、約17万件的検査が実施された。検査全体に占める基準値超過数は25件、割合は0.015%であった。また、輸入品については、約11万件的検査が実施され、基準値超過数は12件、割合は0.011%であった。

国産品で検出率の高いものは次のとおり。(%)

メトクロプラミド4.72、ヒドロコルチゾン2.59、DDT2.11、
ドキシサイクリン1.85

輸入品で検出率の高いものは次のとおり。(%)

エトキシキン17.91、ナイカルバジン10.14、ラサロシド4.25、プロメトリン1.19

(3) 加工食品

国産品については、約3万件的検査が実施された。基準値を超過したものはなかった。また、輸入品については、約78万件的検査が実施され、基準値超過の割合は0.008%であった。

<http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000194458.html>

平成27年度 食品中の残留農薬等検査結果

<http://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-11130500-Shokuhinanzendu/0000194453.pdf>